

3. 地域別にみた平日トリップの目的構成

- 平日トリップにおける目的構成を行政区別にみると、北区・中央区・西区では、他の区と比較して業務トリップの割合が高くなっています。
- 帰宅トリップに着目すると、ほとんどの区では4割前後であるのに対して、北区・中央区では約3割となっています。

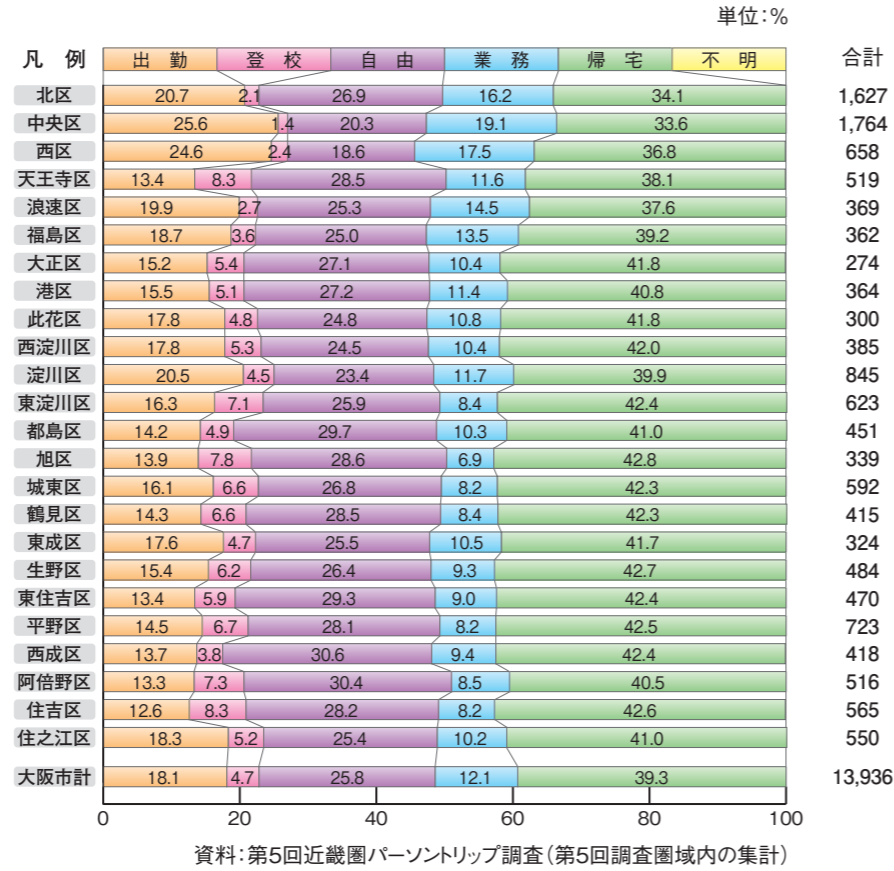


図16 平日トリップの行政区別目的構成(平成22年)

4. 地域別にみた平日トリップの代表交通手段構成

- 平日トリップにおける代表交通手段構成を行政区別にみると、北区・中央区・西区・天王寺区・浪速区では鉄道の割合が約4~6割と、他の区と比較して高くなっています。
- 自転車の割合は、旭区・鶴見区・東成区・生野区・東住吉区・平野区・西成区・住吉区で高く、3割以上となっています。
- 自動車の割合は、全ての区で2割未満となっています。

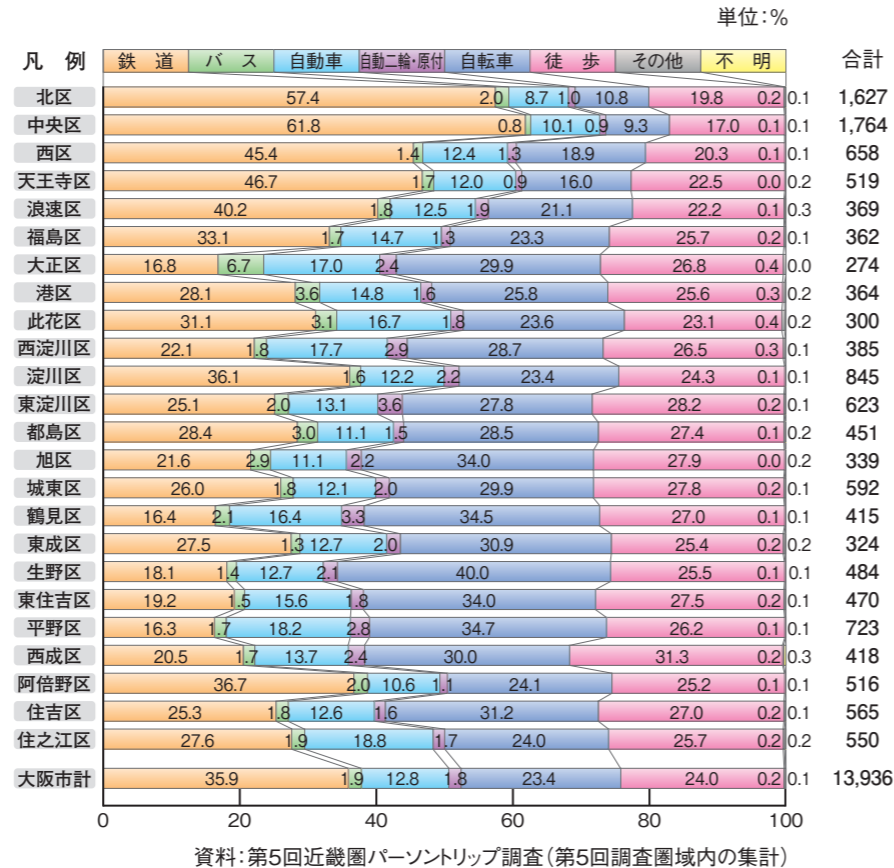


図17 平日トリップの行政区別代表交通手段構成(平成22年)

5. 休日の地域別トリップ数

- 大阪府内の大ゾーン別に、休日の発生集中量の推移をみると、平成12年から平成22年にかけて、全ての地域で減少傾向にあることが分かります。
- なかでも大阪市においては、平成12年からの10年間で約2割以上の減少となっています。

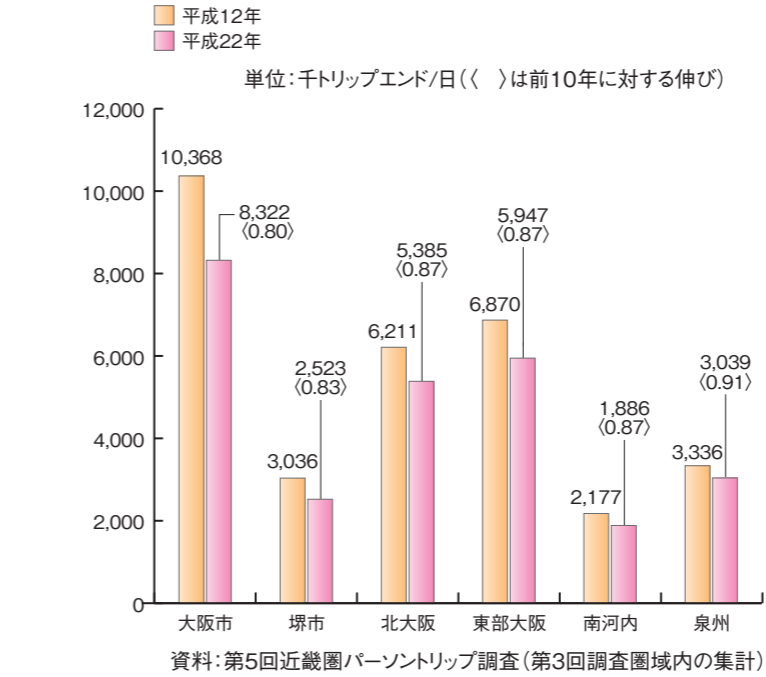


図18 休日の大ゾーン別発生集中量の推移(平成12年~平成22年)

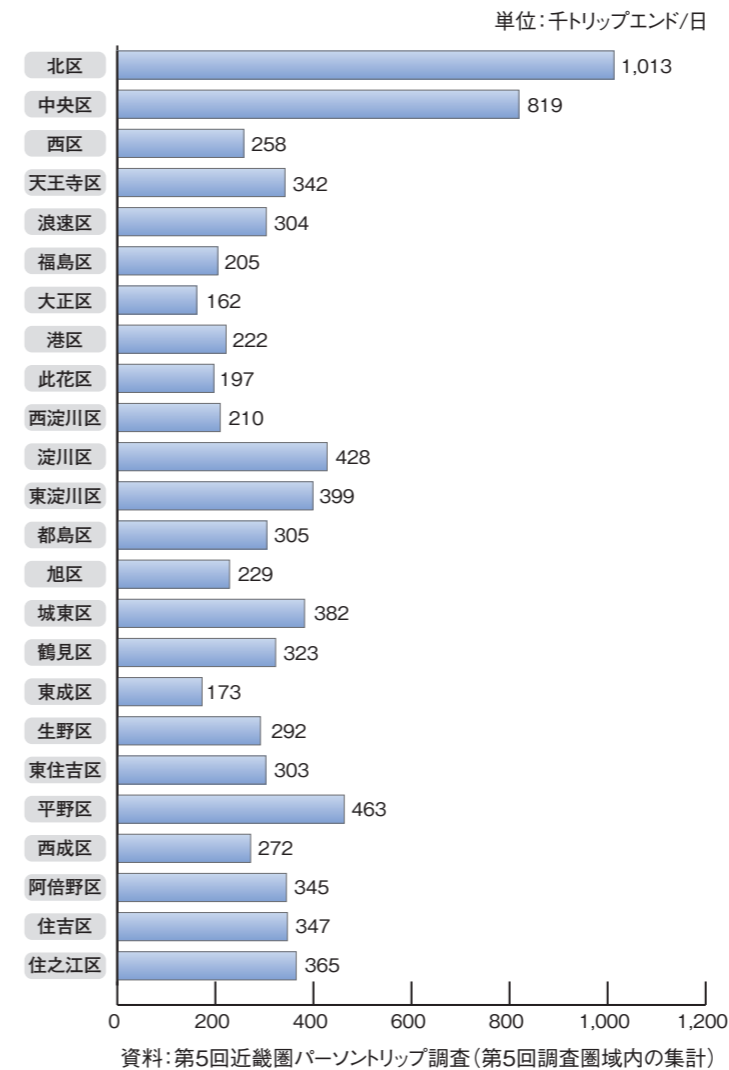


図19 休日の行政区別発生集中量(平成22年)

- 大阪市内の行政区別に休日の発生集中量をみると、平日と同様に北区と中央区で多く、これら2区だけで市全体の発生集中量の約22%を占めていることが分かります。